

# 夢の実現のために希望をもって自ら動く

岐阜市立岩野田中学校

学校だより ～1月号～ 2024.1.22



学校 HP へ



## 2024年のスタート



今年の元日は、晴天で例年に比べて温かい穏やかな朝を迎えました。岐阜市内からは、初日の出をしっかりと拝むことができました。

しかし、元日に震災。2日には大事故。と波乱の幕開けとなった辰年。

そのような中でも、正月は今年一年にかける願いをもって走り出す大切な時です。願いは、人それぞれ違うけれども、自分で決めた目標に向かって一步一步進めていきましょう。特に3年生の皆さんは、進路実現の大事な時期になりました。全力を出し切って、自分の夢に近づきましょう。1・2年生は、先輩たちの姿と語りから責任を感じ、素晴らしい岩野田中学校を受け継いでいってください。

## 1月1日の震災を受けて

1月1日の能登半島地震において、多くの犠牲者が出たことに対して、お悔やみ申し上げます。まだまだ大変な避難生活をされている方々には、ぜひ頑張ってくださいとエールを送ります。

今回の地震は、お正月、多くの人が新年を祝って家でのおんびりと過ごしていたときに起こりました。2011年の東日本大震災以来の大きな揺れを岐阜市でも感じました。中学生の皆さんは、まだ幼児期であったので覚えていないと思います。ですから、あの長い大きな揺れには、すごい恐怖を感じたのではないのでしょうか。岐阜市は甚大な被害がありませんでした。しかし能登半島の市町は、震度7の激震によって家屋の倒壊、地面の亀裂、隆起、火災、土砂崩れ、そして津波。同時に複数の災害に見舞われ、たくさんの方が亡くなり、怪我をされました。未だに行方不明の方もみえます。この3週間で見た報道による映像から、想像を絶する恐怖を地元の子どもたちは体験したのだと思います。

私たちの生活が、毎日無事に過ごせているのは、とてもありがたいことであり、決して普通のことではないということを感じます。

いつ起こるか分からない自然災害。常日頃から災害に対する備えが必要であることは、多くの生徒が考えたことだと思います。



## 「話そう、語ろう、備えよう、わが家の防災」

この冬休みにPTAから出された「話そう、語ろう、備えよう、わが家の防災」という取り組みがありました。驚くほどタイムリーな話題であり、プリントをもとに多くのご家庭で、災害時の対応について家族会議を行っていただきました。提出していただいた生徒のプリントには、日頃の備えの大切さと普段から防災意識を高くもつことが多く記されていました。また中には、いつ起こるか分からない地震への恐怖や被災した状況を見て、その悲惨さに同情する言葉がありました。そして、ほとんどの生徒から、「準備が足りない」「この時期に話し合えてよかった」

「いざという時に自ら行動できるようにしたい」と災害に備える気持ちが沸いていました。とても素晴らしいことです。ぜひ早めに実践されることを期待します。



## 3年生 後期期末テスト 1・2年生 実力テスト

3年生にとっては、中学校生活最後の定期テストが行われました。いよいよ次は本番の入試となります。これまで経験したことを活かして、精一杯取り組んでほしいです。

同日1・2年生は、年に1回の実力テストでした。テスト範囲の指定はなく、既習の学習範囲が全てとなります。次の学年の実力テストに向けて毎日の積み重ねと復習をしっかりと取り組んでいきましょう。3年生では、年間4回程度の実力テストになります。覚えておきましょう。



## 命を守る訓練

1月22日、今年度最後の訓練を行いました。今回は、「不審者対応」での避難を行いました。職員で緊急対応している間に、全校生徒は静かに安全な場所に避難するというものでした。「自分の命を自分で守る。」そのための判断は自分ですることが大切であると意識できました。